青少相だより

No.73
令和８年10月１日発行

発　行　成田市青少年相談員連絡協議会
編　集　総務部会
事務局　成田市教育委員会生涯学習課

第35回 オールナイトハイク

７月２４日（金）から２５日（土）にかけて、「第３５回オールナイトハイク」が開催されました。市内中学校及び義務教育学校から参加した４６チーム３０８名が、午後９時に中台中学校をスタートして約２５kmの夜道に挑み、ゴールの中央公民館を目指しました。













第35回 オールナイトハイク



参加46チーム


①成田中


⑫公津の杜中


②成田中


⑬公津の杜中


③成田中


⑭公津の杜中


④久住中


⑮公津の杜中


⑤久住中


⑯公津の杜中


⑥西中


⑰中台中


⑦西中


⑱中台中


⑧西中・遠山中


⑲中台中


⑨西中


⑳中台中


⑩公津の杜中


㉑中台中


⑪公津の杜中


㉒中台中

【コース（全長：約２５km）】
中台中学校（スタート） → 印旛教育会館 → 遠山小学校 →
三里塚小学校 → 遠山中学校 → 成田市役所 → 成田小学校 →
中央公民館（ゴール）













【楽しくて疲れたオールナイトハイク】

西中学校　３年　加藤　梓沙

７月２４日の夜、とても楽しみにしていたオールナイトハイクが始まりました。私は去年も参加していて、チームのみんなも去年と同じメンバーでした。今年は去年と違い三里塚の方を歩くコースで、みんなと話しながら歩けるワクワクと歩き切れるかのドキドキと気持ちが交差していました。

歩き始めると、夏期講習の話や夏休み中に起きた出来事など様々なジャンルの話をしていきました。

休憩の時は徐々に痛くなっていく足をマッサージしたり、お互いに持ってきたお菓子を交換してエネルギーをチャージしました。

後半に入っていくと疲労で口数が少なくなっていきましたが、「残り何kmだよー！」などの同行者さんの呼びかけがあり、みんなで励まし合いながら最後の力を振り絞って歩きました。

じわじわと暑さを感じながら、限界を迎えた足をなんとか動かしてゴールにたどり着きました。

ゴールした後は色々な感情で胸がいっぱいになりましたが、それでもこのチームで歩けて良かったと実感し、中学最後の夏休みの思い出が彩られたと思います。

【新コースで臨んだ第35回オールナイトハイク】

体育Ⅱ部長　　石神　　章

今年も７月２４日から２５日にかけて、第３５回オールナイトハイクを開催しました。今年は３０８名の中学生が参加し、夜の成田市内を仲間と励まし合いながら歩き抜きました。

長い道のりの中では、暑さや疲労から数名のリタイアもありましたが、多くの参加者が最後まで諦めることなくゴールへたどり着きました。一歩一歩を積み重ねる姿や、仲間同士で声を掛けて支え合う姿は、大きな感動を与えてくれました。この体験を通して、挑戦する勇気や最後までやり遂げる達成感、仲間との絆を深める貴重な機会になったことと思います。

今年は初めて設定したコースでしたが、安全に運営することができたのは多くの相談員と地域スタッフの協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。リタイアした参加者からは体力を付けて再挑戦したいと強い意気込みが聞かれました。

参加した中学生一人ひとりが、この経験を今後の学校生活や日々の挑戦への自信につなげてくれることを願っています。




















㉓中台中


㉟玉造中


㉔中台中


㊱大栄みらい学園


㉕吾妻中


㊲大栄みらい学園


㉖吾妻中


㊳大栄みらい学園


㉗吾妻中


㊴大栄みらい学園


㉘吾妻中


㊵大栄みらい学園


㉙玉造中


㊶大栄みらい学園


㉚玉造中


㊷大栄みらい学園


㉛玉造中


㊸大栄みらい学園


㉜玉造中


㊹大栄みらい学園


㉝玉造中


㊺大栄みらい学園


㉞玉造中


㊻大栄みらい学園

【第３５回オールナイトハイクを終えて】　　会　長　　村島　弘和



昨年と比べて倍以上の子ども達が参加してくれたことはとても嬉しく感じました。本年はコースを変えての企画となり体育Ⅱ部担当役員の皆様にはコース設定等々で当日までの準備をしていただき感謝いたします。去年参加した子ども達も新たなコースを歩くことができたことは良い経験になったのではないかと思います。また子ども達がチーム一丸となり、仲間同士で励まし合いながら歩きゴールする姿はとても感動しました。

成田グリーンライオンズクラブの皆様には本年も協賛金と休憩所にてアイスの配布をしていただき、子ども達だけでなく参加した大人達も大いに喜んでいました。また各地区の青少年健全育成協議会の皆様には、休憩所での飲み物やゼリー等をいただきました。そして青少年の輪を育てる会の皆様には、協賛金ならびに警備や同行のご協力をいただきました。さらには地域の方、保護者の皆様にも同行者として参加していただきました。子ども達が安全に完歩することができたのも参加していただいた方々のご協力があったからだと思っています。

最後に、参加した相談員と携わっていただいた全ての皆様に改めて感謝申し上げます。成田の子ども達の笑顔のために今後も活動していきます。今後もよろしくお願いいたします。

令和８年度 印旛地区青少年相談員課題研修会



監　事　　小松　大佑

日　　時	令和８年６月７日（日） 午前１０時～午後１時
場　　所	富里市立富里小学校　体育館
研修内容	「ドッヂビー体験会」 日本ドッヂビー協会から講師を招聘し、審判や競技を体験しながらドッヂビーについて学ぶ。

印旛地区青少年相談員課題研修会に出席し、フリスビーを使ったドッジボール「ドッジビー」を体験しました。成田市の相談員同士で練習した後、他市町の相談員との混合チームで試合を行い、自然と声を掛け合いながら交流を深めることができました。フリスビーに当たっても痛くないため、子どもから大人まで年齢を問わず一緒に楽しめることが大きな魅力です。スポーツを通じて、世代や地域を越えてつながる楽しさを、改めて実感できた研修となりました。

編集後記

今回はオールナイトハイク特集号でお届けしました。

例年よりもたくさんの生徒が参加し、休憩所では地域の方からの差し入れに嬉しそうに駆け寄ってくる生徒たち。最後はみんなで手をとり笑顔でゴールする姿がキラキラ輝いていました。全チーム完歩しさらに仲間との絆が深まった２日間になったと思います。

ご協力いただいたたくさんの方々には心から感謝申し上げます。相談員一同、より良い活動になるようにこれからも努めさせていただきます。　　（総務部長　原　有加）